

SUNTORY

NEWS RELEASE – No.14521 (2024.1.11)

これからの時代のビール 「サントリー生ビール」リニューアル新発売

- 2023年の年間販売数量は
当初計画の約1.3倍にあたる399万ケース。
- 2024年の年間販売数量は600万ケースを目指す —
- 新たに瓶・樽の販売を開始 —
- さらなる飛躍を目指し、生産体制を強化 —



この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/news/index.html> に掲載しています。

サントリー（株）は、「サントリー生ビール」をリニューアルし、2月製造分から順次全国で新発売します。

「サントリー生ビール」は、これからの時代のビールを目指し、“グッとくる飲みごたえと飲みやすさ”を両立した商品です。お客様からは「のどごしはしっかりあるが、飲みやすくて良い」「頑張った一日の締めくくりにぴったり」といったお声をいただき、2023年の販売数量は当初計画の約1.3倍にあたる399万ケース※となりました。

※633ml×20本換算

今回は、「サントリー生ビール」の魅力をさらに向上させるべく、中味・パッケージを刷新します。また、飲食店でも“グッとくる飲みごたえと飲みやすさ”を楽しんでいただきたいとの思いから、新たに瓶と樽を3月5日（火）から新発売します。

なお、これまでの「サントリー〈天然水のビール工場〉群馬」「サントリー〈天然水のビール工場〉京都」に加えて、2月からは「サントリー〈天然水のビール工場〉熊本・阿蘇」、9月からは「サントリー〈天然水のビール工場〉東京・武蔵野」での製造を開始し、ビール4工場すべてでの生産体制に切り替えます。

これらの活動により、これからの時代のビール「サントリー生ビール」の魅力をより多くの方にお伝えし、2024年販売計画は600万ケースとさらなる飛躍を目指します。

●中味・パッケージについて

中味は、醸造条件を見直し、飲んだ瞬間の刺激感を強化するとともに、全体のバランスを調整することで、“グッとくる飲みごたえと飲みやすさ”にさらに磨きをかけました。

パッケージは、お客様からご好評いただいている「生」の訴求を強め、色調を明るく調整することで、より爽快な印象を強化しました。また、6缶パックや24缶ケースでは、「生」の訴求とともに、缶を中央に堂々と配置することで、パッケージとの連動を強化しました。

●商品担当者のコメント

サントリー（株）ビールカンパニー マーケティング本部イノベーション部
竹内 彩恵子（マーケティング担当）



昨年4月の新発売以来、おかげさまで数多くのお客様にご愛顧いただき、「ビールがもっと好きになった」「自分にとっての定番ビールになった」など、うれしいお声が寄せられています。今回、より多くの皆様にとって「一日の終わりにそっと寄り添い、明日へと進む力をくれるようなビール」になれることを目指し、商品価値に磨きをかけました。ぜひお試しください。

サントリー（株）ビールカンパニー 商品開発研究部 山崎 凌平（開発担当）



「サントリー生ビール」は、“グッとくる飲みごたえと飲みやすさ”を両立した心から満足できる新しいビールとして多くのお客様よりご好評のお声をいただいています。発売後も、“グッとくる飲みごたえと飲みやすさ”の両立にこだわり、麦芽やコーンのうまみ・特長を引き出す醸造条件を追及し続けることで、皆様にご満足いただける中味に仕上がりました。ぜひお試しください。

▼商品概要

商 品 名	容量／容器	アルコール度数	発売期日
サントリー生ビール	3 5 0 ml／缶	5 %	2 0 2 4 年 2 月 製 造 分 から 順 次
	5 0 0 ml／缶		
	5 0 0 ml／瓶		2 0 2 4 年 3 月 5 日 (火)
	6 3 3 ml／瓶		
	1 0 L／樽		
	1 5 L／樽		
	2 0 L／樽		

* 希望小売価格は設定していません

▼発売地域 全国

▼品 目 ビール

▼「サントリー生ビール」ホームページ

<https://www.suntory.co.jp/beer/suntorynama/>

▽本件に関するお客様からの問い合わせ先

サントリーお客様センター <https://www.suntory.co.jp/customer/>

以 上

水と生きる SUNTORY

自然と水の恵みに生かされる企業として、貴重な水資源を守ること。

さまざまな企業活動を通じて社会に潤いをもたらし、社会にとっての水であること。

社員一人ひとりが水のように自在にしなやかに挑戦できる会社であること。

「人間の生命（いのち）の輝き」をめざす想いを、「水」に託して伝えるメッセージです。